

広報

いまり

No. 368

運動会の片隅で  
見つけた  
小さな愛

'59

10月

(大坪小学校運動会の会場で9/23)

(人口) 男29,205人 女32,533人 計61,738人 (前月比+73人) 世帯 17,333世帯 (9月1日現在)



# 市民が創る21世紀の伊万里市

## 9月3日懇話会が発足

「市民が創る21世紀の伊万里市」をテーマに、伊万里21世紀懇話会の初会合が9月3日市役所で行われました。地方都市が着実に発展していくためには、そこに住む人を確実に受けとめられる魅力のある都市づくりが必要です。

懇話会のねらいは、若い人たちの自由な討議の中から「個性的な伊万里市の将来像」を見いだそうというものです。席上、竹内市長は「オールド伊万里の名声を先人が築いた。ニューイマリを現代人の手でつくりあげねば……。委員の皆さんは、自分のこととして取り組み、特色



▲初会合で緊張ぎみの各委員さん

ある提案をお願いします。」とあいさつしました。

会は、荒牧佐賀大学助教授を座長に選出し、市側の概況説明を受けたあと自由討議を行いました。今後は、不定期に会合を重ね、61年3月末に報告書を提出します。

皆さんも、次の世代に伊万里をどう引き継いでいくか、いっしょに考えてください。

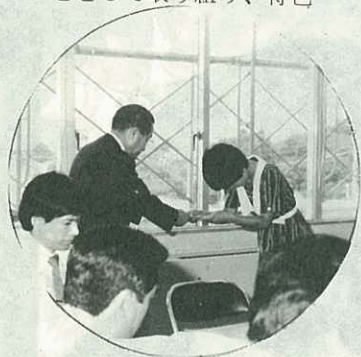
懇話会のメンバーは、次のとおりです。

### ＜学識者＞

荒牧軍治(佐大助教授)・清田勝(同助手)・寺田良一(同講師)

### ＜市内委員＞

川副敏郎(陶青会)・小笠原和生(陶青会)・松尾仁嗣(伊万里太鼓の会)・田代直樹(青年団)・重松清太郎(青年会議所)・堤茂樹(青年会議所)・稲富栄子(主婦)・吉田久和子(主婦)・西田敏幸(農協青年部)・前田武運(農協青年部)・前田英司(農協青年部)・野村恭三(鉄工所経営)



▲委嘱状交付のようす

まわられて「こんど伊万里に進出し伊万里の工場から製品を送ります」といったら、伊万里の名前を焼物で知っていて本当に伊万里に工場をたててよかった、と述懐しておられたことを「せいら」に書いたことがありました。私は重ねてこの「せいら」をかりて「伊万里」というすばらしい名前をつけ、そして焼物を世界に積出して下さった先輩の力がたに心から感謝もうしあげます。

私も伊万里のあとをつぐ者はオールドイマリ之余韻にただ感激しているだけでは先祖に申しわけがなくこれからニューイマリを建設して再び伊万里の名声を浮揚せねばなりません。

いま市制三十周年を記念して伝統工芸都市としての伊万里と新技術集積都市としての伊万里づくりを始めました。

前者では外国の現地で伊万里焼をつくる方策などがあり、後者では九州電子金属さんが世界に輸出されるのにあわせて世界との交流を深めるなど豊かな発想を盛りこんでゆきたいと思えます。

(竹内)



# 定年制条例は継続審議

昭和59年第3回定例市議会

伊万里市議会第3回定例会が、9月6日から21日まで16日間開かれました。提出された議案は、職員の定年制度を導入するための条例制定など条例議案6件、一般議案13件、一般会計予算の補正など予算議案が6件、そのほか人事案件や決算認定など合わせて43件が審議されました。



▲総務常任委員会での審議

## 3年間で段階的に延長

地方公務員法の改正に伴って伊万里市職員の定年等に関する条例を制定し、職員の定年を満60歳とする案を提出していました。現在まで、法律による定年制度がありませんでしたので、市は職員の満年齢が57歳（一般職）に達したときに退職を勧奨していました。

しかし、一挙に退職年齢を60歳にすることは、職員の新陳代謝の面からも問題がありますので、昭和60年3月31日から63年3月31日までの3年間は、段階的に延長する経過措置を設けていました。

議会では、行政改革との関連

もあり、なお慎重審議すべきだとして継続審議することになりました。

このほか、市営住宅の管理体制を強化するため、新たに住宅管理人を置くように条例を改正しました。また、複雑化している各種の災害に対応するため救助工作車を、2,450万円で購入することの承認を受けました。

### 補正額5億422万円

一般会計予算の補正は、5億422万円を追加し総額を143億9,767万円としました。

主なものは、次のとおりです。

○58年度の剰余金1億6,578万円

のうち8,300万円と基金から生じた利子1,541万円を財政調整基金に積立(基金残高7億5,690万円)

○市道の整備に8,795万円

○県道11路線の整備事業負担金として3,130万円

○港湾の改良や海岸保全事業の負担金として1,795万円

○原屋敷地区のかんがい排水工事費などに2,358万円

○波多津町西部地区の農道舗装工事費2,272万円

○共同利用畜舎などの建設費補助1,292万円

○広域農道やため池などの整備事業の負担金として7,431万円

○土木施設災害復旧費2,348万円

麻里さんはその時の感激を「たとえそれが本当の伊万里焼ではなかったとしても、年老いた店主からイマリという言葉を聞いただけでうれしかった。そして私が伊万里に生れたことをうれしく思いました」と書いておられます。ずーっと前に九州電子金属の社長さんがアメリカを

くわしい情報はこの十月号の広報の中にありますがアメリカの奥地の店主の部屋にあった焼物を、店主の方から「伊万里焼」と紹介された時の麻里さんの感動は伊万里の者にはストリートに伝わってくる感じがいたします。

これは、交換学生としてアメリカの香月巖さん昌代さんの長女香月麻里さんからお便りの一節です。





# おとなはなぜ



▲山代町久原下場のあいさつ道路

## 広げようあいさつの輪

伊万里市が文部省の指定を受け展開している「豊かな心を育てる事業」や全市的に展開している青少年育成の地域実践活動の中に、オアシス運動や愛の一声運動があります。

もともと、あいさつは社会生活のマナーの第一歩で、強要されるものではなく、「おはよう」「こんにちは」あるいは会釈が自然に出てくるものではないでしょうか。このあいさつ運動を今さらなぜ、と考えられるかもしれませんが、地域社会の人情が薄れていく今日ほど、あいさつの大切さが見直されているときではないでしょうか。

学校や地域での実際の取り組みを通して、もう一度あいさつを考えてみましょう。

## 中学生や父兄の感想は

市内の小・中学校では早くからあいさつ運動が展開され、特に農村部では、よくあいさつが徹底するようになってきました。

都市部のマンモス校である伊万里中学校でも生徒会与PTAが校門や通学路に立ち、あいさつ運動を行っています。

生徒会を代表して、兵働、山本、千葉、久保田君、瀬戸さんの5名に実情を聴いてみました。

「遅刻しそうで駆け込みの人や3年生があいさつしませんね」

「いい子ぶって、不良ぶりよるとよ」「1学期はよかったけど夏休みが過ぎて半分もあいさつしないようになったね」

「私はいつも立っているおかげで、近所の人にもスラッとあいさつが出るようになりました」「自分からあいさつすると気持ちがいいし、いまではやめられ

ないぐらいです」と最初は義務感でやってたのが、進んで毎日立っている人もいます。

井本校長先生の話では、山代や黒川など農村部では、まわりの大人たちがよくあいさつするので子供たちも当然と思っているようですが、町中でマンモス校である伊万里中学校の場合はあいさつをしない周囲の環境があるのでは……。それでもだいぶよくなった、とのことでした。



# あいさつをしないの



オアシス運動

**お**はようございます。  
**あ**りがとうございます。  
**し**つれいします。  
**す**みません。

*心をこめて*

さて、家に帰って親子であいさつが出来ている家庭は、どれくらいあるのでしょうか……。

通学路に立つ父兄の感想は、どうでしょう。

「初めは知らんぷりしているが慣れてくると自発的にあいさつをしてくれます」「年齢的に恥かしがるからか、でもまだまだ素直だと思う」「誘いかい心配で知らない人にはあいさつしないのかも」「ツッパリの子がはにかんであいさつしたときは、うれしかったね」などなど子供たちは大人にはよくあいさつをするようです。

PTAの草場会長は「子供たちがせっかくあいさつした心を大人が踏みにじらないよう、あいさつをしてほしい」とのことでした。

## すてきなあいさつ道路

具体的に地域ぐるみでの実践活動をご紹介します。

山代町久原二区の下場の通学道路に『あいさつ道路』が出ました。かわいい女の子が頭をピョコンと下げてあいさつしている看板が立っていて、なんだか自然にあいさつしたくなるものです。

これは下場自治公民館の山口源次さん(63歳)が、材料は合板会社からもらい、7月から半月かけて作られたもので、下場の中堅グループである祇園会の人たちが看板を立てました。

看板には「心のふれあいはずあいさつから」など8枚あります。地区の人たちも「こりゃいい、自然に頭がさがる」とま

ずまず好評のようです。

8月、区で行ったアンケート調査でも「かなり浸透してきている」「子供たちが朝夕よくあいさつしてくれる」との答が返ってきています。

下場区では自治公民館活動が驚くほど盛んで、家庭教育講座の開設や父の日、母の日に作文募集をして文集を回覧したり、今年の1月からは、毎日夜間パトロールを区民全部が交代で実施しています。

みんながやる気になってやっているのでもちろん文句も出ません。みんなでアイデアを出しあって一つ一つ模索しながら青少年の健全育成やまちづくりに取り組んでいる、とのことでした。



山口源次さん



# 真のリーダーをめざして

## 寺坂さんが青年の主張 県大会で最優秀賞



8月22日、佐賀市で開かれた青少年主張県大会で山代中3年の寺坂正子さんが、最優秀賞に選ばれました。

寺坂さんの発表した「真のリーダーをめざして」の中には、あいさつを通して生まれる人間関係と豊かな心があります。

現在、私は、生徒会生活部の副委員長を務めています。はじめ、抵抗のあったみんなへの注意が、何とかこだわりなく、スムーズに出来るようになりました。しかし、こういう毎日の生活の中で、私はいろいろな悩みや壁につきあたりながら頑張っています。

先日のことです。私たちは、いつものように校門に立って指導していました。すると自転車通学のA君が、私たちのあいさつに目もくれず、スゥーと通って行ってしまいました。「ちょっと、おはよう」という私の声が頼りなかったせいか、無視されました。しかし、私は、A君を追っかける気にもならず、又（何でやろか）というくやしさだけが、胸の奥からこみ上げてきました。それと同時にあいさつは他に強要されてやるものではない、と自分にいい聞かせました。よし、A君に会ったら、もっとにこやかに、こちらからあいさつを試みよう、返事がかえってくるまでやってみようと思ったのです。

そして、それから数日間A君は1度も一時停止をせず、あいさつは一方通行でした。ところが4,5日すると、普段のA君にはないところが見えてきたのです。彼は、人1倍でれやなので、校門指導がもうすぐ終わろうという日、彼に反応が表われたのです。それは校門で自転車のスピードがかなり落ちてきたこと、ちらっと舌を出してきまり悪そうに通過していくA君を見つけたのです。私は次の日の朝が、とても楽しみでした。なぜなら明日こそA君が一時停止をしてあいさつしてくれるかなあ……という期待が持てたから。

次の日、(さあ今日こそは)と願いながら、いつものように、「おはようございます」と校門に立っていました。するとA君の自転車が校門に近寄ってきてスピードが落ちだし、止まってくれたのです。今までとは違ってあいさつをしてくれたのです。

私は、うれしくてうれしくて涙がこぼれそうになりました。何か責任が果たせた、という充実感で胸がいっぱいになったのです。

私たちの学校は、数年前まで非行や暴力が絶えませんでした。しかし2,3年前から小さな差別暴力も許さない環境作りこそ生徒会がやる仕事だ、という目標に立ち、いろいろと取り組んで

## 豊かな心を育てよう

### 〈反省4〉 No. 9

## 尽くすことを 教えましたか？

「お使いに行って」「行ったらごほうびをくれる？」

今日の子供の意識の特徴として、何か行うとき常に報償を期待する傾向があります。人間関係の中には、このような打算や功利の関係だけでなく、ひたすら「尽くす」関係があります。そうした精神的基盤が、香りの高い豊かな人間社会を成立させています。

子供時代に、慈しみや奉仕の機会を与えられ、喜こんで尽くすことを教育されることは、人格形成や人間性を培うことで重要な意味を持っています。

現在の私達の社会で、何をやるにしても「ただでされるものか」という考え方になっていませんか。刻苦勉励して地位や財産を得たとしても、真の喜びの人生とは言えず、人のため・社会のために奉仕できることが幸福な人生といわれています。

慈愛と思いやりに満ちた心を育てよう努めましょう。

他の学校からも、よい評価を受けるまでになりました。

私はみんながついてきてくれるような、リーダーでありたいと思います。それには私自身、信頼され尊敬されるよう成長しなければと思います。

.....

「おはようございます」

「きょうも頑張ってるからね」



# 豊かな心はあいさつから

目ざましく進展する車社会や情報化社会の中で、私たちの行動範囲と知識は、急速に広がっています。しかし都市では隣の人のことさえ知らない所や、車での通勤であいさつしようにもすれ違いというのが現状で、知らず知らずのうちにあいさつも出来ない状態におかれているのではないのでしょうか。

大人社会が心の通わない状態では、青少年の健全育成にいいはずはありません。近所の子供でも知っているとお身にすることが出来ます。子供たちも温かく、時には厳しい目を肌で感じる事が出来ます。

豊かな心を育てるには、まずあいさつから始まるのではないのでしょうか。

## 身近なものを統計に

### 統計グラフコンクール発表

市統計グラフコンクールは、小・中・高校生301人から185点の応募があり、9月7日市役所で審査が行われました。

特選は、小中学生の部で梨の収穫をグラフにした井手功一郎君の「とれたよおいしいなし」、家庭での手伝いの状況を調べた吉武正憲君の「お手伝いしていますか」、家庭のだんらんの大切さを図表にした岩崎史朗君、久保田智広君の「大切な家庭だ

んらん」の3点が選ばれました。今回、多数の応募があった高校生の部は、ガンの恐ろしさを題材にした岩政昌子・井手ゆかり・松尾知子さんの3人で作成した「まだ治せないガン」が受賞しました。また、優良学校賞には波多津小学校・黒川中学校の二校が選ばれました。

入賞作品は、10月19日から26日まで伊万里玉屋に展示します。準特選以上の作品は、次のとおりです。(敬称略)

- 〔第1部〕 小学校1～3年  
特選 井手功一郎(波多川1年)  
準特選 真崎けい子(伊万里2年)  
" 下平 あや(大川内2年)  
" 田中 穂実(波多津1年)
- 〔第2部〕 小学校4年以上  
特選 吉武 正憲(黒川6年)  
準特選 { 内山 直樹(大川内5年)  
(合作) { 岩崎 陽介(大川内5年)  
" 山浦 康平(山代東4年)  
" 吉武 美樹(山代東4年)
- 〔第3部〕 中学校



▲第2部特選 吉武くんの作品

## 王滝村へ救援の手を

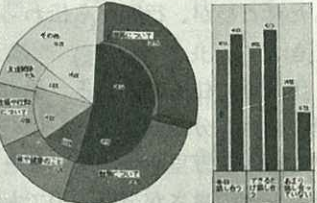
長野県王滝村は、地震により村の半数の家屋被害と死者行方不明者多数の大災害を被られました。

郵政省は、被災地あての救援品小包の料金と災害見舞金の郵便振替を10月17日まで、国鉄は小荷物の運賃を16日まで、いずれも無料で取り扱っています。

◆送り先〔品物〕〒397-02 長野県木曾郡王滝村 王滝村長宛  
〔見舞金〕郵便振替口座 長野県共同募金会 長野災9-503

## 大切な家庭だんらん

橋本の解消は親子の対話から



### 多忙理由と子供が拒否



### ▲第3部特選の作品

- 特選 { 岩崎 史朗(伊万里3年)  
(合作) { 久保田智広(伊万里3年)
- 準特選 吉武 正樹(黒川1年)  
" 岩野 珠紀(黒川3年)  
" { 島田 美知(松浦3年)  
(合作) { 吉原 和美(松浦3年)
- 〔第4部〕 高等学校  
特選 { 岩政 昌子(伊商1年)  
(合作) { 井手ゆかり(伊商1年)  
" 松尾 知子(伊商1年)
- 準特選 福本 喜文(伊農2年)  
" 前田 智子(伊商1年)





### ★ わが家のP.O.B ★

井手一成くん (1歳)

清敏、みどりさんの長男。  
やんちゃで家中はいまわってばかり、家族思いの子になってねとお母さん。いま昼寝から起きたばかりでした。(南波多町大曲)

# ほほえみ ひろは

(8)

## ♥あなたの手紙

# お母さん! 伊万里に生まれてよかった

交換留学生として、アメリカのデラウェア・アカデミーセントラルスクールで勉強中の、香月麻里さん(17歳)から便りがとどきました。伊万里に生まれ育った喜びが、行間から伝わってきます。

伊万里に住んでいると、伊万里の良さが分かりません。いちど外から伊万里を眺めてみるとほんとうの良さが分かるのでしようね。

その帰りに田舎も田舎の家なのですか? コットウ品屋だったんです。そこへよりました。ねかめはカレージでがらくたみたいなのはありました。もちろん Made in Japan も見ることができました。  
次にほかのリビングルームにとうさくしました。次に見せられたものが、とっくに藤娘の絵があり、少し説明を店主にしてあげました。次に見せられたものが、とっくに、いやいやこれはもしかしての品 "I Thing" ..... 伊万里焼だと思つと言葉にしようと思つたら店主が IMARI と言われたんです。私は I from IMARI .. と叫びました。涙が出るほどうれしかったです。もう本当にうれしくて。私はこのニューヨークのお店で、伊万里焼と出会うことが出来ました。それが本当の伊万里焼じゃあなかつたとしても、出会った店主から IMARI という言葉をきけただけでも、うれしかったです。そして、私が伊万里に生まれたことをうれしく思いました。

▲ニューヨークから麻里さんの手紙



## 健康の窓

伊万里医師会

Q 乳児検診では、どんなことを調べているのですか。

A 乳児検診は、小児の健康状態や成長の程度を調べ、心身障害の予防や早期発見と育児上の指導を目的に行われています。

検査の内容は、新生児の場合 腸門の閉そく、ひ尿器奇形、兔唇(みつくち)などの有り無しを調べます。

1~3か月検診では、先天性の心臓奇形・関節脱きゅう、ヘルニア、斜けい(首)などを

調べます。

6~7か月検診では、停留こう丸、陰のう水しゅ、聴力障害、視力障害、斜視、脳性まひなどを調べます。

検診で早期発見すれば、腸門の閉そくや消化管の奇形などは手術により救命できます。また、先天性の関節脱きゅうなども3~4か月で発見し治療すればよくなります。そ徑ヘルニア

は、外科手術の必要がありますが、へそヘルニアや筋性斜けいは自然になおることが多いようです。脳性まひも程度によりませんが、早期に適切な訓練をすれば症状の改善を期待できます。

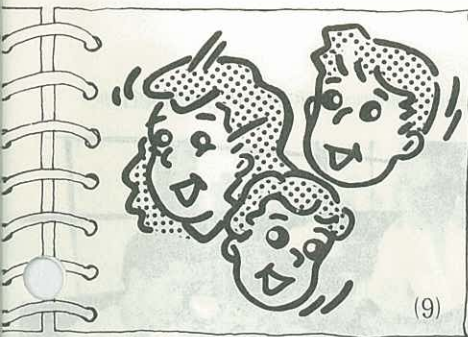
検診は、いろいろな症状を発見できますので、定期検診は必ず受けるようにしましょう。

<お詫びと訂正>

10月25日の3ヶ月児健康診査の対象者は、59年7月生まれです。9月の保健コーナーが誤っていましたので、訂正いたします。

健康の窓ではみなさんの質問をお待ちしています。秘書課広報係までお願いします。





(9)

♡ほっとニュース

## 陶芸基金に100万円

9月11日、二里町八谷搦の山元病院長夫人仁子さん(57歳)が、「アマチュア陶芸展の基金にしてください」と、100万円を市に寄附されました。

仁さんは、市制30周年を記念して行われたアマチュア陶芸展で、最優秀の「鍋島大賞」を受けられた陶芸歴15年のベテランです。市は、基金を設けアマチュアの陶芸が、ますます盛んに

なるように役立たせていただきます。



▲寄付を贈る仁子さん

## あの人この人 No. 36

ヤング登場区

### 伊万里太鼓におしどり太鼓

伊万里の新しい芸能として去年5月に誕生した伊万里太鼓はすっかり評判になりましたが、

そのリーダーの1人、中村正己さん(31歳)は、大太鼓、通称平八太鼓をたたいています。

旗上げのときは、連日連夜の猛練習が、夜の街中に響きわたり、市民を驚かせたものです。

中村さんは、土井バンドでオルガンと歌を担当する音楽家。

1曲10分の太鼓の演奏は、まず体力とペース配分、演奏後は鼓膜がバカになるほど。それにロックのリズムと共通で、ロックより幅があるのが魅力だそうです。この大迫力をできるだけ大勢の人に見てもらおうとやりが



▲中村さん夫婦は息もぴったり

## お早よう ほほえみさん



脇田町脇田  
林田 美佐子さん  
(S38年生)

ミスサマーの林田さんは資生堂勤務3年のベテラン。自分のチャームポイントは、アーモンドの瞳かなあ……。趣味はレコード鑑賞、美容のポイントはよく眠ること、朝はまったくダメな方だとか。ひっ込み思案だから結婚は25歳ごろでしょうね。

♡理想の男性 高校時代から藤竜也さんのファンだそうです。

## 四季の詩

子供らの話はずきず野菊道

本町四丁目 北川 幸子

秋の彩日に濃く染む窯の里

朝立ちのぼる煙は白し

黒川町塩屋 那須 由布

いを感じるそうです。

1期生は11名、去年11月には2期生11名が加わり、現在週2回、市民会館で練習に励んでいます。実は、奥さんの千賀子さんも自分でやりたいと2期生に入りました。「コタツのソファーをたたいて練習するので、うるさくて」と正己さん。夫婦共演の伊万里太鼓は、まさにおしどり太鼓で呼吸もぴったりです。

現在の曲目は、オープニングの「豊年太鼓」と「喧嘩太鼓」「出船」ですが、供日までには「入船」がいき、3部作となりますのでご期待ください。



●米留学生が市長にあいさつ(8/30)

国際ロータリークラブの交換学生として、アメリカからケイト・リービットさん(16歳)が来伊、来年7月まで伊万里高校で勉強されます。ケイトさんは、竹内市長に「お世話になります」とあいさつ。金髪で162センチのかわいいお嬢さんです。



●フランスの陶芸家が来伊(9/1)

フランス人陶芸家、ジャン・ピエール・ピオさん(48歳)と夫人のハギゴ(旧姓・福山)さん(37歳)が、61年春からの留学に備えて伊万里を訪れました。竹内市長にあいさつした後、大川内を見学、「あこがれの焼き物の里にきて感激しました。」と話されました。

# 国際交流

# 花ざかり



●オイスカ研修生が来庁(9/18)

オイスカ産業開発協会の西日本研修センターの団員24名が竹内市長を表敬訪問しました。一行は、南波多4Hクラブ(前田耕栄会長)との交歓会に来伊されたものです。団員の中には、ペラウ共和国のウエキ・ミノルさんのお嬢さんの姿もみられ、父親の学んだ土地に感激の一コマもありました。

●中国から永住帰国(9/1)  
市出身の山田(旧姓久保)イサさん60歳が、中国から永住帰国されました。戦時中、旧満州に渡り開拓団に入植されましたが、ご主人とお子さん2人を戦争で亡くされました。今回、妹の久保サミさん(三里町大里)が身元引受人になり、永住帰国が実現しました。



●カナダへ梨の初出荷(9/3)  
特産のナシがカナダに輸出されることになり、大川町と南波多町の農協から二、七〇〇箱(四〇・五トン)が神戸港に向けて出荷されました。



↑ 放映は10月13日土夜8時から  
●勝ち抜き歌謡天国(9/1) ●文





●高齡者慰問(9/11)  
 東山代町浦川内の高木千代五郎さん(96歳)を竹内市長が訪れ記念品を贈りました。高木さんは、男性の最高齡者(市内で五番目)ですが、今でも山で作業をするほど元気です。長寿の秘けつは、薬局で調べてもらう秘薬?とやはり節制だそうです。



●老人趣味の作品展から



●老人福祉大会(9/3)  
 市老人福祉大会が市民会館で開かれ市内から約一、〇〇〇人が参加し会員の桶渡キミさんと川添一さんが意見発表を行いました。また、奉仕活動を行っている団体などが表彰または感謝状を受けました。



●敬老会(9/15~16)

市内12地区15会場で敬老会が催されました。80歳以上の長寿者(1,677名)に市から祝金と記念品が贈られたほか、結婚50年(金婚)を迎えられた78組の夫婦に祝状が贈られました。



講演会(9/4)



●親子釣り教室(9/1)



●親子バドミントン教室(9/1)

伊万里市民と  
 NHKのつどい





●上土井町の古川順一さん(69歳)は親代々の大工でトンテントンの修復をされています。去年は4本柱が24本も折れてたいへんでしたが、今年は準備万端OKです。

### おねがいします

## 市道の立木の伐採

最近、市道で草木が茂り、見通しが悪くなって危険な所もあるようです。建設課では道路パトロールを行っています。市道全域には手が回らない状態です。秋の市民大清掃に合わせて市民のみなさんに伐採の協力をお願いいたします。

※詳しくは、市役所建設課維持補修係まで。(☎③2111内線333)

## 合同相談所を開設

市民皆さんの悩みや苦情など専門の係員が相談に応じ解決をはかる合同相談所を開設します。

- ▲期 日 10月18日(木)
- ▲時 間 10時～15時
- ▲場 所 市役所4階大会議室
- ▲内 容 行政、人権、法律  
悩み事、その他一般

◎毎月第3水曜日は、定例行政相談日となっています。

## 10月22日・23日・24日

伊万里っ子の血潮を騒がせるいまり秋祭り「トンテントン」が、来る10月22日から24日までの3日間にわたって催されます。

トンテントンの壮烈な合戦絵巻に合わせ、郷土色豊かな祭りとして「音楽パレード」「こどもみこし」「郷土芸能」「いまり総踊り」など多彩な行事が、市街地で繰り広げられます。

今年は、市制施行30周年を記念し「太鼓と歌と踊りの夕べ」も計画しています。

郷土出身歌手の万里知子さん若杉実さんを招き、歌と伊万里太鼓や新たな創作曲による「みんなで踊ろう」など、生活の勢いと喜びにも似た感動のリズムの祭典を催します。

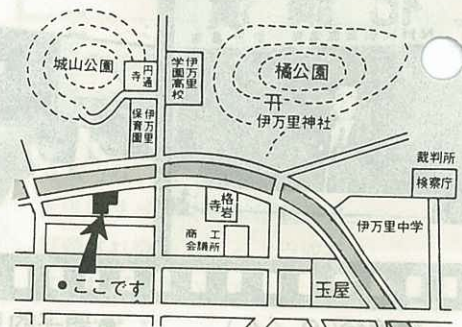
ご家族でお出かけください。

## 幸善町駐車が市営に

10月1日から幸善町駐車が市営となります。時間駐車が出来ますので、商店街にご用の方は気軽にご利用ください。

(料金は他の市営と同じです)

### ●幸善町駐車の略図







しまり歴史散歩 その31

### 古語

## 「渡座」と「相物」

郷土研究会 小川光次



昔のいりこの天日干し風景

まで)され「沖塩もん」となかなかの評判でした。きんちゃく網のあじ、さばなど大量の魚は、水揚港伊万里で、やーあもん師たちの手で塩切り作業が行われ夜を徹して炭抗地帯などの大消費地に運ばれるのでした。

山代町辺りで、ときどき開かれる「わたまし」は、十訓抄に(鎌倉時代)「新らしく家を造りて渡座(わたまし)せられける」と、貴人の転居を言いましたが、明治・大正時代の古い辞書では、一般の引越しも指すようになりました。今ではこの語を用いる地方はごくまれとなり、非常に珍らしがられています。

いまに「やーあもん」や「わたまし」の語源もまったくわからなくなり、消滅してゆくのでしょうか、民族興亡の歴史を知る重要な手がかりとなるので、方言の究明は急がなくてはなりません。

あい物とは、商いものや魚介類を総称する地方もありますが南北朝50余年の軍記物語「太平記」に「相物とて乾したる魚の入りたる俵を……」とあり、塩をひいた魚の干物をさすのが正しいようです。

冷蔵の知識がまだ幼稚だった昔は、水揚地でまず塩をひき、馬の背や人の肩によって消費地に運ばれるうちに、塩味と乾燥の具合がちょうどよかんびゃあ(あんばい)(良い塩梅の訛り)になっていました。塩をひかない魚は無塩といって、陸揚げ地近くでしか食膳にのせることはまずできな

かったようです。

相物は、伊万里弁で「やーあもん」となまります。もともと伊万里浦には、九州屈指の鯨問屋もあったし、茹で干し(いりこ類の昔訛り)やすめるめなど扱う業者の中には、藩の免札を持って綿栽培の肥料、干鰯(ほしか)を一手に動かす桁はずれに大手の旦那衆もいて、これに多数の小端頭(こぼとう)がつきこれらを含め「やーあもん師」と呼びました。

伊万里湾辺りののう(延縄漁)でとれた魚は、さっそく船上で塩切り(下こしらえから塩ふり

## 身のまわりの人権問題

同和教育シリーズ No. 36

### 子どもの目



10月10日  
目の愛護デー

一夕方になると、お母さんは「女の子だから洗たく物ぐらい取り入れてたたまなさい」といいます。

それがすむと、「晩ご飯のお手伝いをしなさい」用事をいいつけるたびに「女の子だから」といいます。

お兄ちゃんがテレビを見ていてもプラモデルを作っているお母さんは知らん顔です。ずいぶん不公平だと思います。私はお手伝いはきらいではありません。でも、私だってお兄ちゃんみたいにテレビをゆっくり見たいのです。お兄ちゃんと二人

でお手伝いしたら、早く仕事が終わって、私もテレビを見られるのに。

一隣の家にも男の赤ちゃんが生まれました。「あとつぎができた、めでたい」と大喜びでした。

近所の女の赤ちゃんが生まれた家では、「なんや女か」といわれたと赤ちゃんのお母さんがくやしそうにっていました。

生れたばかりの赤ちゃんは、まだ自分が「男の子」「女の子」の意識はありません。その無心な心に、大人たちがいろいろな考え方を植えつ

けていくのです。「男の子はえらい女の子はつまらない」「女は男に従うもの」……などといった考えを植えつけられないでください。いったん植えつけられた考え方は、なかなか変えることができません。

子どもは、まっすぐな目で大人を見えています。だから世の中の不公平にも敏感です。しかし、一方では親や先生や、近所の人たちをはじめとする大人たちの言動を、受け入れてしまう素直さを持っています。

日常のなにげない言動が、子どもたちの意識にどんな影響を与えるか大人はもっと、よく考えなければならぬのではないのでしょうか。



# みんなで清掃

## 住みよい伊万里

### 公共施設の清掃日 11月4日

伊万里を美しくする市民運動が、11月1日から10日まで全市をあげて展開されます。

道路や公民館、公園など公共施設の清掃は、11月4日(日)に行ってください。また事業所や学校、家庭でもふだん手の届かないところも清掃しましょう。

#### ◇清掃後の後始末◇

○燃える物は青袋、燃えないものは赤袋へ、指定の日時、場所指定の袋で出しましょう。

○粗大ゴミ、汚泥は指示される場所へ出してください。

○有害ゴミの乾電池は地区や町公民館の指定容器まで。

○蛍光灯・鏡などは、ほかのゴミと区別して指定の場所へ。

### ごみ・し尿休業のお知らせ

○し尿汲み取りは、伊万里供日のため10月23・24日は休みます。

○ゴミ収集日の10月24日は、上

黒尾、相生、船屋、松島、下松島を休みます。

※供日期間は、交通混雑を避けるため、市街地の収集時間を1時間ほど繰り上げますのでご了承ください。

### 所得稅...

## 記帳の制度化

所得税法が改正され、事業所得や不動産所得、山林所得のある人は、記帳することが義務づけられました。

この記帳制度は、昭和58年分または59年分の事業所得の金額が300万円を超える人(青色申告者は除きます)は、収入金額や必要経費を記録し、その帳簿を7年間保存しなければならぬこととされています。

※詳しくは、伊万里税務署(☎③3147)へおたずねください。

## 市民軽スポーツ大会

初心者で壮年層の市民を対象に軽スポーツ大会を開きます。

▲日時 11月11日(日) 9時～

▲会場 伊万里商業<sup>体育館</sup>グラウンド

▲種目

<男子>スローピッチソフト

<女子>ミニバレーボール

▲申込み先 各町公民館25日まで

※詳しくは、各町公民館または教育委員会体育保健課まで。

(☎③2111 内線465)

## 年金相談所を開設

年金に関する相談を受けるため相談所を開設します。気軽にご利用、ご相談ください。

### ●日程

期・日	10時～12時	13時～15時
10月25日(木)	市役所1F第2会議室	
26日(金)	山代公民館	東山代公民館
29日(月)	二里	松浦
30日(火)	大川	南波多
31日(水)	黒川	波多津

## しょうぼうだより

小・中学生

### 防火ポスター募集

小・中学生を対象に火災予防ポスターを募集します。

▲締切日 10月31日(水)

▲内容 小学生：8ツ切画用紙  
中学生：4ツ切画用紙

※ポスターには、「秋の全国火災予防運動」や「あとでよりいまが大切火の始末」の標語を入れること。

## スケッチ大会

市防火協会は、小学生を対象に消防スケッチ大会を開きます。

▲とき 10月14日(日)9～12時

▲ところ 消防本部訓練場

※画用紙は協会で用意します。



## 危険物取扱者試験

佐賀県は、次の要領で危険物取扱者の試験を行います。

▲種類 甲種、乙種、丙種

▲日時 11月18日(日) 9時

▲受付 10月12日～10月18日

▲申込先 佐賀県消防防災課

▲問い合わせ先 市消防本部予防課(☎③4311 内線45)

※願書及び受験案内書は、消防本部・各分署に用意しています。

献血にご協力ください!

10月12日(金) 10時～15時

場所：新天町駐車場



## 高額療養費の負担額が軽減

国民健康保険の高額療養費支給対象額が、10月1日診療分から改善され医療費負担が軽減されます。( )内の金額は、市民税非課税世帯の場合。

1. 1か月に1人が、1つの病院で支払った(入院と外来は別)自己負担額が51,000円(30,000円)を超えた時は、その超えた額が支給されます。
2. 同一世帯で、同じ月に30,000

円(21,000円)以上の負担者が2人以上の時は合算して51,000円(30,000円)を超えた額。

3. 同一世帯で、年間4回以上支給を受けた場合は、4回目から30,000円(21,000円)を超えた額。
4. 厚生大臣の指定した長期高額疾病(人工透析・血友病など)については、1月10,000円を超えた額が支給されます。

※詳細は、市民課保険給付係へ。

## 10月の市民会館行事

- 7日(日) 11:30~16:00 無料  
若柳瀟泉会おさらい会
- 21日(日) 12:30~17:00 無料  
錦城会吟詠大会(市文化祭)
- 毎週金曜日 9:30~12:30 受付  
運転免許更新時講習会

## 市民釣大会



- ▲期 日 10月7日(日)
- ▲釣 場 福島~今福港まで
- ▲対象魚 フグ、ウナギなどを除く海魚(船釣りを除く)
- ▲参加料 1人100円・保険料
- ▲受 付 築港魚市場前、浦の崎海岸(7時~8時まで)
- ※小学生以下は必ず父兄同伴  
検量は受付所で行います。



## スポーツの秋



### 第7回国見台陸上競技カーニバル

- ▲期日 10月10日(水)9時開会
- ▲会場 国見台陸上競技場

### 第16回市民体育祭

- ▲期日 10月28日(日)9時開会
- ▲会場 国見台陸上競技場

## 子ども ▲○□▽ パソコン教室

子どもたちに電子技術の習得と豊かな心の仲間づくりを進めるためパソコン教室を開きます。

- ▲開設期間 11~12月
- ▲開講日時 毎週日曜日  
小学生9時~12時  
中学生13時~16時  
(土曜13時~16時は復習時間)
- ▲会 場 中央公民館
- ▲対 象 市内居住の小学5年生から中学生まで
- ▲定 員 23人  
(応募多数は抽せん)
- ▲受講料 2,000円(テキスト代)

※申し込みは、10月25日までに社会教育課または各町公民館へ。(保護者の承諾印が必要です)

## ご存知ですか?

## こくみん共済

全労済の「こくみん共済」は厚生省認可の生命保障制度です。地域の勤労者(住民)を対象に出資金100円でどなたでも加入でき、少ない掛金で有利な保障が得られます。

- ▲加入できる方 満60才未満で健康な方
- ▲保障と掛金
  - 1 A型(0~14歳) 月1,000円  
最高500万円保障
  - 2 型(15~59歳) 月2,000円  
最高1,000万円保障

▲共済期間 1年間  
※詳しくは、伊万里地区労働者福祉協議会(☎②6161)までお問い合わせします。 1



## 色えんぴつ

大川町山口の前田マサ(67歳)さんからお便りをいただきました。金石原からの帰途、通りがかりの方にバス停をたずねたところ、時刻表をみて1時間以上も待たねばならないからと、わざわざ自分の車で自宅まで送っていただいたそうです。

他人のことなどがまってる余裕もない時代に、親切にしてくださいと感激されてました。この親切なお嬢さんは、造船所に勤務する中島ひとみさんで来年成人式を迎えられるそうです。

豊かな心を育てる施策を推進している時、ひとみさんの親切に心から拍手をおくります。

※婦人労働旬間 10月21~31日 雇用の機会均等と待遇の確保!





# こども

# ページ



▲裏方の中学生はあせビッシュヨリ

## けんかはダメだよ

### 南波多中のボランティア人形劇

南波多中学校(吉永九郎校長)の演劇部とボランティア部の生徒26名が、近くの南波多保育園(山口チサ子園長)を訪れ人形劇などで園児を楽しませました。

演劇部(山崎雅宏部長)は、「ブタ飼いとヒツジ飼い」を上演し、園児120名の拍手を浴び

ました。いつもケンカをしているブタ飼いとヒツジ飼いが、ブタやヒツジを盗みにくる狼を力を合わせてやっつけるお話で、狼がハチに刺されたり、棒でたたかれる場面では、園児も一緒になって応援。

演劇部は、吉永節子先生の指

導で人形を作ったり、芝居の練習をしています。この日にそなえて4月から製作にとりかかりました。舞台のうらでは、部員15名が汗だくでたくさんの人形をあやつり、時には歌ったりしながら上手に演じました。

また、ボランティア部(吉野恵津子部長)は、塩谷北海先生の指導で奉仕活動を行っていますが、この日は6月から作り始めたペンギンやゾウなどのぬいぐるみと、楽しい絵をプレゼントしました。

二つのクラブとも地域のお年寄りや子供達との交流を深めようと、毎年活動をつづけています。園児は、お兄さんお姉さんの好意に「アリガトウゴザイマシタ」と大きな声でお礼を言っていました。

ほくもわたしも、大きくなったら、人のためになることを、きっとしてくれるでしょう。



▲ほくたちこんなにいいもんもらったよ

## お父さんは働かきもの

松浦小4年 幸島香織さん

朝7時に行って夕方6時に帰ってくるお父さんは、とってもつかれているので、足やこしにのってやると、とってもよるこびます。

父の日のプレゼントに足のりけんやこしのりけんを作っていました。すると、お父さんは気持ちよさそうにテレビやしんぶんをみていました。

今までは「足にのって」といわれても「いや」といってのってやりませんでした。でも家族のためにはたらいっているお父さんに、これからはのってやろうと思います。

お父さん、いつまでも元気でまたキャッチボールをして遊んでくださいね。

▶お父さんは下平の幸島機敏さん

